

市のスポーツ関係23団体が所属し、約4,400人の市民が登録している矢板市体育協会。市民皆さんの健康増進や青少年の健全育成に大きく貢献しています。それぞれ団体の活動について会長にお話を伺っていきます。

矢板市体育協会の今

空手道連盟

登録人数
135人

会長 岩見 忠昭さん



主な活動を教えてください。

連盟では、主催する市内大会のほか、県空手道連盟大会を始め、県少年錬成大会や県スポーツ少年団空手道交流大会などに各世代の選手を派遣しています。

また、連盟では空手道の各種行事を通じ、他団体との交流・親睦やスポーツ少年団活動が中心となり、他競技種目団体との交流・体力テストの実施・野外活動なども行っています。また夜間の教室では、公道会と誠道塾の2教室を開講し、指導者と生徒たちが約50人がわだかまり無く楽しく体を動かしています。そこでは、空手道特有の礼節を重んじる精神のもと団結互助と協調性を毎回実践しています。

いま抱えている課題は？

少子化にもなつ子どもものの減少により競技人口も少なくなっています。高齢社会となりますので会員もそちらの移行も考慮せねばと思っています。高齢者が空手を行うことで姿勢が良くなったり、関節が動くようになったりと、体の機能向上が図れると思いますので、興味があったらぜひ参加してほしいですね。

空手道の魅力とは？

いつでも・どこでも・ひとりでも出来ることと、世界中でどこでも日本の空手道として注目されていることです。当連盟の理事長がドバイ・カナダ・ベネズエラ・ケニアと遠征指導して実感してきたことです。今後この空手道の魅力を広く知ってもらいたいと思います。

今後協会が目指すものは？

今後は、この素晴らしい空手道を矢板市のみならず県北地区に広く普及出来るよう、演武会や親睦交流会なども企画したいと思っています。また、市連盟の選手権大会も県北地区のほとんどの愛好者がたくさん参加していただけるような大会としたいので、啓発活動を強化していきたいと思っています。

ソフトボール協会

登録人数
770人

会長 大柿 盛男さん



主な活動を教えてください。

協会では、会員向けに、ナイターと日中、併せて10の大会を開催しています。また、教育委員会と協力し、小学生向けにも3つの大会を開催しています。それらの大会を運営している延べ日数が年間100日を超えます。また、県の大きな大会などにも審判を派遣しています。これらを文句ひとついわずに行ってくれている役員には、とても感謝しています。

いま抱えている課題は？

競技人口も少しずつ減ってきていますが、やはり審判などの運営に関わる人材不足が挙げられます。大会に参加するだけではなく、運営に関わる人をもっと増やしてい

かなければ先細りの組織になってしまいます。実際に審判は、とても大変な仕事ですが、大きな大会の試合を何事もなく行えたときの充実感と達成感は何事にもかえられません。これからは市民体育祭のように、登録していなくても多くの方が参加できるように大会を行い、人材を発掘できればいいですね。

ソフトボールのおもしろさは？

なんとといっても生涯に渡って、長く続けられることです。大会も一般、壮年、混合など年齢別のクラスに分かれていますので、技術力に合わせて試合することが出来ます。私自身、ソフトボールのおかげで多くの仲間と出会うことができました。長年、一緒にプレーしてきた仲間たちと試合の後に飲む酒の味はまた格別です。

今後協会が目指すものは？

今後は、ピッチャー力の向上など、皆さんの技術向上が図れるようなことを考えていきたいですね。また、近隣市町にはありますが、市内には女子だけのチームがありません。今ソフトボールを行っている子どもたちの受け皿の意味も込め、今後、作っていかれたらと考えています。